

ふれあいネットワーク

# 社協 まつもと

発行 社会福祉法人 松本市社会福祉協議会 電話 27-2000  
編集 社協まつもと編集委員会 FAX 27-2239  
E-mail:syakyoum@avis.ne.jp http://www.avis.ne.jp/~syakyoum/



国籍も障害も越えて—

## ひろがる人権とふれあいの輪

スペシャルオリンピックス  
冬季世界大会・長野

スペシャルオリンピックスが感動と感謝、博愛の心で「共に生きる社会」を築こうとしています。

この大会が、すべての人が差別と偏見のない考え方を持てる、そんな世の中に変わっていくきっかけになるよう願っています。

- ・知的発達障害者が演奏活動… 2P
- ・市の老人大学を終えて…………… 2P
- ・SOアメリカ選手団を迎えて… 3P
- ・あいちゃん…………… 3P
- ・チャレンジ町会福祉…………… 3P
- ・ふくしかわらばん…………… 4P

平成17年 No.164

### 3月15日号



# SOOでも感動の応援演奏

## 知的発達障害者の演奏グループ「ケ・セラ」

「ケ・セラ」が誕生して2年半。初めころは練習の形もとれず、ばらばらのメンバーの間を飛び回って悪戦苦闘していました。でもメンバー自身のがんばりと支えてくれた多くの人たちのおかげで、短期間のうちに自前でコンサートが開けるまでになり、驚き（喜び）と、将来への期待を抱かせてくれるまでになりました。昨年開催した「ケ・セラ旅立ちのとき」コンサート



スペシャルオリックス会場

では、音楽文化ホールの小ホールに満員のお客さんを迎え、大成功を取めました。それ以来、公演の依頼も増え、今年に入ってすでに4つのステージをこなしてきました。メンバーも舞台上で演奏することが好きなように、練習のときは違った表情を見せてくれます。2月には、スペシャルオリックスの催しで長野市まで出向いての演奏がありました。アスリート（競技者）の応援と、そこに参加する多くの人たちとの交流は、私たちにとって大変重要なことです。知的発達障害を持つ「ケ・セラ」のメンバーやアスリートが、それぞれの目標と可能性に向かってベストを尽くして立ち向かう姿は、多くの人たちに勇気や喜びを与えます。そしてお互いに感動を分かち合うことができれば、そこから心のバリアフリーが芽生え、誰にでも開かれ



ボランティア交流集会

た、人に優しい地域社会創造への一歩前進の手助けになることでしょうか。 「ケ・セラ」のゆめ“はこのような演奏活動を職業として、社会に認めてもらうことです。この目標に向かって、メンバーも日々の練習に励んでくれることと思えます。幅広いジャンルを演奏します。コンサートにはぜひお出かけください。 (中西 博)

松本市老人大学には、学習する機会を与えてくださったことを感謝するともに、期待いっぱいでの入学しました。

「自分を高める、友を得る、社会に貢献する」など大学の目標に向かって学んで、早や一年が過ぎようとしています。

老人大学の仲間は、社会人として人生経験の豊かな人の集まりで、みな同じ立場で学び、過去は問わない打ち解けた方たちばかりでした。

**できることから  
社会へ貢献を—  
市の老人大学を終えて**

無関心だった松本の福祉の歴史が理解できたことや、健康管理、老後の生き方、芸術文化など、さまざまな分野にわたって多くの講師の先生からご指導やご助言をいただき、充実した一年でした。

学習は自分が主体的に取り組み進んでいくこと、心豊かに生きること、泣くも笑うも我が一人、悪は人か

ら出て人を滅ぼす。年を重ねて聞いた講義は、改めて認識するものがありました。

また、老人大学の目的の一つ「良き友」を得るため、班活動や自治活動も行いました。

今後は一年制から二年制にして開講日や授業時間を増やし、仲間との交流がより一層深められるようになることを望みます。

多くの講師の先生から学んだ知識を活かし、余暇をいかに有意義に送るかを考え、人と人、心と心のふれあいを大切にしたいと思えます。

多くは望まずに、微力ながらも、できることから社会参加をして、貢献していきたいと考えています。



(藤原敏子)



あいちちゃん  
作.上原ゆり子



# スペシャルオリンピックス冬季世界大会・長野 アメリカ選手団を松本に迎えて

スピードスケートとフロアホッケーに出場するアスリートやコーチ、82名と交流しました。「松本で過ごした4日間はとても楽しかった」と語っていました。

平成17年2月22日(火)～25日(金)  
ホストタウンプログラム



## チャレンジ町会福祉

—うちの町ではいま—

### 防災と見守りネット づくりを目指す

庄内・南新町一丁目町会  
私たちの町はアパートも含め90戸、70歳以上の敬老対象者56名(地区2番目の高齢化率)を抱える小さな町会です。今年度のモデル事業に「ふれあい支えあい」「生きがい・仲間づくり」を取り上げ、月1回の神社清掃活動と茶話会で、ふれあいと心の繋がりを保ち育てていくことに腐心して参りました。

これらは高齢者を中心に実施されてきたことですが、今年はこのまま一年を終わらせたいいけない、一歩前進しなければと思う、市防災課自主防災組織活動の手引き」からヒントを得て、町の自主防炎会に「災害時要援護者台帳」、町会福祉部に「在宅要援護者見守り台帳」を作り、また一

覧表も作成して利用することを計画しました。  
来年度からは、個人情報保護に配慮しつつ、災害時救援対策を「防災ネット」、在宅者援護対策を「見守りネット」と位置づけて、隣組長は両ネットの通信員を担当し、有機的連携を強めつつ活用の恒常化を目指したいと考えています。

実はこの提案をした後に、町内の一人暮らし男性が人知れず亡くなってしまったことが発覚しました。その事実を町会が知っていたのが、発生から十日余りも経過した後だったことが町会として誠に恥ずかしくもあり、また残念なこともありました。  
これを教訓にしながら、来年度は是非でもこの計画を実現させようと鋭意努力中です。

(町会長 古畑喜八郎)





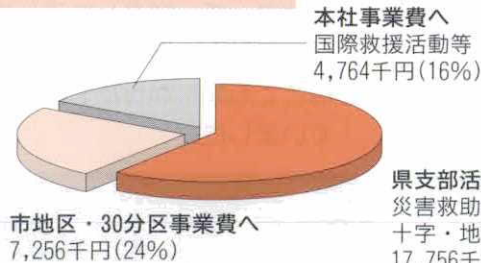
ふくし・みやびばん

# ご協力ありがとうございました

## 日赤社資

日赤松本市地区では、皆様からいただいた社資を財源に、地域でさまざまな事業を展開しています。

- ◇救急救命法、幼児安全法、家庭介護法の講習
  - ◇健康や安全を守るための勉強会や交流会
  - ◇災害に備えた訓練など
- ※地区・町会で炊き出し訓練を実施します。



平成16年度  
◆目標額 35,488千円  
◆実績額 29,776千円  
◆達成率 83.9%

県支部活動へ  
災害救助、医療事業、青少年赤十字・地域奉仕団の育成等  
17,756千円(60%)

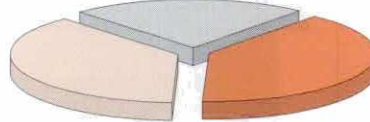
## 赤い羽根共同募金

共同募金運動では、市民の皆様のご理解とご支援をいただき、大きな成果を上げることができました。お寄せいただいた募金は、地域福祉推進のために大切に使用させていただきます。



30地区社協事業  
敬老会、ふれあい会食会、子育て講座、見守り安心ネットワーク事業等  
14,062千円(37.6%)

市社協福祉事業  
町会福祉モデル事業、児童遊園地整備事業、介護者のつどい、市社会福祉大会等  
8,491千円(22.7%)



平成16年度  
◆目標額 31,656千円  
◆実績額 37,381千円  
◆達成率 118.1%

県内の福祉事業  
社会福祉団体、社会福祉施設、災害被災世帯等  
14,828千円(39.7%)

## 市社会福祉協議会への寄付

### 高額寄付金

市民タイムスおもいやりボックス、(株)アートヒルズ

### 一般寄付金

南部老人福祉センター囲碁同好会、サンピア松本、上原ゆう子、長野県大衆音楽協会、安曇野同好会、イエスキリスト松本教会、松本ライオンズクラブ、中日新聞中信専売会、匿名

### 市社協賛助会員

信州印刷(株)、(株)ナガキュー、松本市公設地方卸売市場協議会、(株)松本事務機サービス、上條鋼材(株)、(株)デイリーはやしや、介護ショップ松本、松本市建設事業協同組合、清水口建設(株)、電算印刷(株)

### 市社協特別会員

鳥羽武義、阿部政男

### 物品寄付

増田貴子、百瀬陽一、岡田小学校、朝日生命、市民タイムス、草間公子、松本駅前郵便局、松本第一高校音楽部吹奏楽部、百瀬雅子、城西町婦人会、穂高町柏矢町区長 峯村宏、山辺小学校、西荒町町会、齋藤勇、生きがい探求クラブ、手塚勇助、笠井津伍、赤羽禮、永関むつ子、井口幸次、大和豊美、帯刀正樹、N T T退職者の会、城東地区福祉ひろば、宇野哲、遠藤尚行、金田涼子、平林明直、下條和子、今井郵便局長 清澤直也、佐野鎮一、野田由美、小口けさ子、菅野児童センター、島立児童センター、芳川児童センター母親クラブ、西尾淑子、あがた児童館、日赤奉仕団里山辺分団、二子児童センター、松本郵便局、ナガノトマト労働組合、エクセラン高校、長野県マレットゴルフ連盟、座光寺辰巳、鎌田児童センター、三浦里子、大久保久雄、内田児童館、寿台児童館、笹賀地区社会福祉協議会、長野銀行、相野田薫、老人クラブ椿寿会、鎌田中学校福祉委員会、八十二銀行、松本市連合婦人会、藤平美枝子、伊藤博、住友生命松本支社、小野まさ子、「小さな親切」運動 [順不動・敬称略] (平成16年3月1日～平成17年2月末日)

安心して活動するために...

## ボランティア活動保険のご案内

ボランティア活動中に、ボランティア自身の負傷や、他者を負傷させてしまった、あるいは物を壊してしまった等の事故を補償します。

- ◆掛金(年間) Aプラン 300円
- Bプラン 500円
- Cプラン 700円



- ◆補償期間 平成17年4月1日～平成18年3月31日
- ◆申し込み 松本市社会福祉協議会(双葉4-16) ボランティアセンター (☎27-3381・FAX27-2239)

## 福祉アドバイザー・出前福祉相談

障害者や高齢者などを支援するボランティアの育成、組織化、相談や助言を行っています。

- ◆相談員 CPクラブ竹とんぼ 降幡和彦氏
- ◆相談時間 毎週月曜日 午後1時～午後5時  
毎週水曜日 午後7時～午後9時
- ◆相談会場 総合社会福祉センター(双葉4-16) ボランティアセンター・ルーム等
- ◆問い合わせ 松本市社会福祉協議会 (☎25-3133)

「社協まつもと」はみなさんの共同募金の配分金で発行されています。